

## 屋久島の地域性を活かした工芸品の開発

デザイン・工芸部 山田淳人

屋久島は1994年に世界自然遺産登録地として、日本はもとより、各国から観光客が来島し、その数も増加する傾向にあります。それに伴い地元の工芸業界も施設面が整い、製品等に対する技術、デザイン面での関心が高くなってきており、デザインや工芸面に関しての技術指導や技術相談も増加しています。そこで、屋久島を特化し、地域イメージについての調査、分析をもって、工芸品開発のコンセプトを明確化して、「屋久島らしさ」を生かした新しい工芸品づくりの研究開発を行いました。一連の研究を経て開発した試作品は、観光客などに好評で商品化、販売されています。

### 【製作した試作品】



地元広葉樹を利用したキーホルダー



地元広葉樹を利用した時計



地元広葉樹を地元の植物で染色したキーホルダー



地元広葉樹を地元の植物で染色したアクセサリー